

令和5年度 キャリア教育指導計画

I 学校の現状と課題について

令和4年度のアルバイト長期短期経験者は全体の87.5%である。ほとんどが1年次あるいは2年次より始め、社会人として必要な資質を学ぶ機会を得ている。

学年が上がるにつれ、職場での仕事ぶりに高い評価を受けているが、学年が下がるにつれ、働く上での基本的な姿勢が不十分で、職場から指導を受けている生徒もいる。

これらのことを踏まえ、1・2年次には社会人として必要な態度を教え、3・4年次には働くうえで必要な知識について学ぶことが必要であると考えます。

II キャリア教育の学校目標について

生徒1人ひとりの「生きる力・生き抜く力」を育み社会経済情勢の変化に十分に対応しうる、社会人としての資質（知識・技能）を身につけさせる。

心身ともに健康でたくましく、至誠と礼節を重んじ専門的知識・技術を生かし社会に貢献する人材を育てる。

III キャリア教育を通じて身につけさせたい資質・能力、態度について

1年生・・・自己管理能力、コミュニケーション能力

2年生・・・表現力、コミュニケーション能力

3年生・・・課題を克服する力

4年生・・・情報収集力、分析力

IV 3年間の体系的な指導について（各学年での指導概要）

[1年生]

- ・挨拶や礼儀の指導。
- ・自己の適性を見極めさせる。
- ・遅刻・欠席をしないための自己管理について指導する。

[2年生]

- ・表現力を身に付けさせる。
- ・自己の適性を見極めと企業研究をさせる。
- ・遅刻・欠席をしないための自己管理について指導する。

[3・4年生]

- ・会社で要求される資質をもとに自己評価をさせる。
- ・自己の適性を見極めと企業研究をさせる。
- ・欠席日数0日を目指す。
- ・労働基準法、年金について学ぶ。